宝塚市人口ビジョンの修正について (新旧対照表)

ページ	修正前	修正後
P2	兵庫県における人口は平成 17 年 (2005	兵庫県における人口は昭和 60 年(1985
	年) から減少に転じていますが、世帯	年)以降、前年度調査比-0.1~3%と横
	数は平成 17 年(2005 年)以降も前調	ばいで推移しており、世帯数は昭和60
	査年度比5%前後で微増しています。	年(1985年)以降、前年度調査比4~9%
		で微増しています。
P5	地域別の年齢4区分を見ると、第5ブ	地域別の年齢4区分の <u>比率</u> を見ると、
	ロックでは他の地域と比べて年少人口	第5ブロックでは他の地域と比べて
	(0~14 歳) 及び生産年齢人口 (15~	15 歳未満及び 15~64 歳が <u>高く</u> 、65~
	64 歳) が多く、65~74 歳、75 歳以上	74 歳、75 歳以上は <u>低く</u> なっています。
	人口は少なくなっています。また、第	また、第7ブロックでは 65 歳以上が
	7 ブロックでは65 歳以上人口が40.5%	40.5%と全地域の中で最も <u>高く</u> 、15歳
	と全地域の中で最も多く、年少人口及	未満及び 15~64 歳は他の地域より <u>低</u>
	び生産年齢人口は他の地域より少なく	<u>く</u> なっています。
	なっています。	
P7	「昭和 58~62 年(1983~1987 年)」か	「昭和 58~62 年(1983~1987 年)」か
	らの5年間の合計の推移を見ると、合	らの 5 年間の <u>合計特殊出生率は 1.60</u>
	計特殊出生率は 1.60 から「平成 15~	<u>となっており、</u> 「平成 15~19 年(2003
	19年 (2003~2007年)」までは年々減	~2007年)」までは年々減少し、
	少し、	
P8	出生数は、平成8年(1996年)から平	<u>出生児数</u> は、平成8年(1996年)から
	成 23 年 (2011 年) まで 2,000 人前後	平成 23 年(2011 年)まで 2,000 人前
	で推移していましたが、近年は微減傾	後で推移していましたが、近年は微減
	向にあります。また、死亡数は	傾向にあります。また、死亡者数は
P9	これは結婚、出産、子育ての時期が影	これは <u>就職や転勤、結婚、子育て</u> の時
	響していると考えられます。	期が影響していると考えられます。
P11	県内での転入出は、西宮市がそれぞれ	県内での転入出先は、西宮市が最も多
	26%と多く、次いで、神戸市で転入が	く、転入、転出とも約26%を占めてお
	17%、転出が14%、伊丹市で転入、転	り、次いで、神戸市、伊丹市との間で
	出ともに 15%程度となっています。	の転入、転出が多く、転入、転出とも
		15%前後となっています。
P12	市内転居の可能性のある若者世代	市内への転居により人口増加につなが
		る可能性のある若者世代
P12	「社会増×自然増」	「自然増×社会増」

P22	表-シミュレーションごとの2040におけ	表-シミュレーションごとの年少人口、
表のタ	る推計人口(上表)と増減率(下表)	生産年齢人口、老年人口の比率
イトル		
	表内の項目	表内の項目
	6 5 歳以上人口比率	老年人口比率
	(75歳以上人口比率)	
P23	一方、転入は、結婚、出産の時期と想	一方、転入は、 <u>就職や転勤、結婚、子</u>
	定される 20 代から 30 代で多い。	<u>育て</u> の時期と想定される 20 代から 30
		代で多い。
P23	女性の就業者、労働力人口の割合は兵	女性の就業者、労働力人口の割合は兵
	庫県、近隣市町と比較すると低く、働	庫県、近隣市町と比較すると低い状況
	いている女性が少ない状況にある。	<u>にある。</u>
P24	「住環境の良さ」が 41.3%と最も高く	「住環境の良さ」が 41.3%と最も高く、
	次いで、「交通利便性の良さ」、「治安の	次いで「交通利便性の良さ」 <u>34.8%</u> 、
	良さ」34.8%、	「治安の良さ」 <u>31.2%</u> 、
P27	資料2-2	資料2-2